

平成31年4月1日から
令和2年3月31日まで

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
項目	金額	項目	金額
営業費用	231,427	営業収益	239,113
供給販売費	231,427	託送供給収益	0
労務費	66,967	自社託送収益	239,113
諸経費	84,445	事業者間精算収益	0
修繕費	32,016	最終保障供給収益	0
消耗品費	7,863	その他託送供給関連収益	0
賃借料	5,217	(補償料等収入)	0
租税課金	38	(償却分区域外工事負担金収入)	0
固定資産除却費	441		
需給調整費	0		
バイオガス調達費	0		
需要調査・開拓費	0		
事業者間精算費	0		
その他経費	38,870		
減価償却費	80,015		
一般管理費	0		
人事関連	0		
土地建物関連	0		
宣伝・広告関連	0		
システム関連	0		
基礎的研究関連	0		
一般管理	0		
事業税	0		
託送供給特定費用	0		
最終保障供給費用	0		
営業利益	7,686		
営業外費用	879	営業外収益	1,612
資金調達	877	資金運用	0
雑支出等	0	雑収入	1,505
その他	2	その他	107
特別損失	1,675	特別利益	0
税引前託送供給関連部門当期純利益(又は税引前託送供給関連部門当期純損失)	6,744		
法人税等	0		
託送供給関連部門当期純利益(又は託送供給関連部門当期純損失)	6,744		

(託送収益明細表)

(単位:千m³、千円、円/m³)

	託送供給量	託送収益	単価
託送供給収益	0	0	—
自社託送収益	7,108	239,113	33.64
事業者間精算収益	0	0	—
最終保障供給収益	—	0	—
その他託送供給関連収益	—	0	—
託送収益合計	7,108	239,113	33.64

様式第2(第4条関係)

託送資産明細書

事業者名 大網白里市

平成31年 4月 1日から

令和 2年 3月31日まで

(単位:千円)

項 目	金 額
建設仮勘定	5,183
設備勘定(有形)	752,606
無形固定資産	53,332
長期前払費用	51
運転資本	18,872
繰延資産	0
託送資産合計	830,044

建設仮勘定、設備勘定(有形)、無形固定資産、長期前払費用及び繰延資産の算定方法については、期首期末平均を採用。

(一般ガス導管事業者:本支管投資額実績表)

(単位:千円)

項目	直近実績					5年平均額
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
主要導管						
本支管(主要導管以外)	98,865	80,080	75,585	86,520	76,964	83,603
計	98,865	80,080	75,585	86,520	76,964	83,603

様式第3（第5条関係）
第1表

超過利潤計算書

事業者名 大網白里市

平成31年 4月 1日から
令和 2年 3月31日まで

(単位：千円)

項 目	金 額
税引前託送供給関連部門当期純利益 (又は税引前託送供給関連部門当期純損失) (①)	6,744
託送供給関連部門の営業外費用(その他に限る。)(②)	2
託送供給関連部門の営業外収益(雑収入を除く。)(③)	107
託送供給関連部門の特別損益(④)	-1,675
その他調整額(⑤=⑥+⑦)	0
補償料等収入(⑥)	0
最終保障供給取引損益(⑦)	0
調整後税引前託送供給関連部門当期純利益 (又は調整後税引前託送供給関連部門当期純損失) (⑧=①+②-③-④-⑤)	8,314
調整後税引前託送供給関連部門当期純利益に係る法人税等(⑨)	0
調整後託送供給関連部門当期純利益 (又は調整後託送供給関連部門当期純損失) (⑩=⑧-⑨)	8,314
託送供給関連部門事業報酬額(⑪)	18,513
減少事業報酬額(⑫)	0
託送供給関連部門の営業外費用 (資金調達に限る。)(⑬)	877
当期超過利潤額(又は当期欠損額) (⑭=⑩-⑪+⑫+⑬)	-9,322
うち想定原価と実績費用との乖離額	-4,582

第2表

超過利潤累積額管理表

事業者名 大網白里市

平成31年 4月 1日から

令和 2年 3月31日まで

(単位：千円)

項目	金額	備考
前期超過利潤累積額(又は前期欠損累積額) (①) (うち前期乖離額累積額) (⑦)	-10,971 (-7,506)	
当期超過利潤額(又は当期欠損額) (②) (うち想定原価と実績費用との乖離額) (⑧)	-9,322 (-4,582)	
還元額 (③)	0	
当期超過利潤累積額(又は当期欠損累積額) (④=①+②-③) (うち当期乖離額累積額) (⑨=⑦+⑧)	-20,293 (-12,088)	
一定水準額 (⑤)	83,603	
一定水準超過額 (⑥=④-⑤)	0	

一定水準額は、託送供給関連設備投資額のうち、本支管投資額の過去5カ年平均の値を適用

第3表

導管投資額明細表（一般ガス導管事業者）

事業者名 大網白里市

平成31年 4月 1日から

令和 2年 3月31日まで

（単位：千円）

項目	当期投資額	備考
高圧導管	0	
中圧導管	26,656	金谷川工事関連 PLP 100~150φ 48.4m 商業施設建設関連 PLP 150φ 2.7m
計	26,656	

第4表

内部留保相当額管理表

事業者名 大網白里市

平成31年 4月 1日から

令和 2年 3月31日まで

(単位：千円)

項目	金額	備考
前期末内部留保相当額 (①)	-11,278	
当期超過利潤額(又は当期欠損額) (②)	-9,322	
還元額 (③)	0	
当期導管投資額(又は当期特定導管投資額) (④)	26,656	
当期内部留保相当額 (⑤=①+②-③-④)	-47,256	還元義務額残高：0

第5表

乖離率計算書

事業者名 大網白里市

項目	値	備考
想定原価（千円）（①）	736,584	
想定需要量（千m3）（②）	22,325	
想定単価（円/m3）（③=①/②）	33	
実績費用（千円）（④）	739,376	
実績需要量（千m3）（⑤）	21,774	
実績単価（円/m3）（⑥=④/⑤）	34	
乖離率（%）（⑥/③-1）×100	3	

想定原価及び想定需要量は、平成29年4月から令和2年3月までの3年の合計とした。

実績費用及び実績需要量は、平成29年4月から令和2年3月までの3年の合計とした。